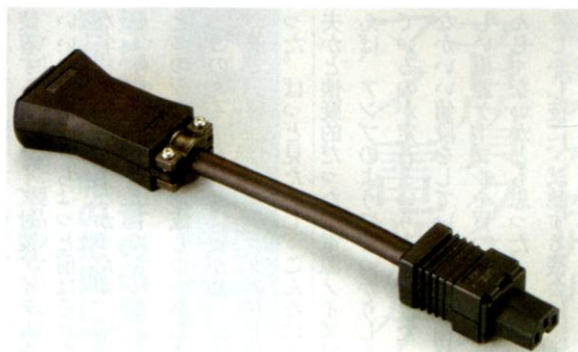




●概要と特徴、音質レポート
透明度を増して余韻を激増 楽器に高級感を出してくる
 電源ノイズフィルターを内蔵するタイプで、後述する FLOW28、FLUX50 の3兄弟のうちも最も新しい末弟。フィルター回路は直列コイルとコンデンサーによって構成される回路を用い、100kHzで約8dB、500kHzで約14dBのノイズ成分を減衰させる特性を持つている。この数値は3兄弟すべてで共通していて、使用パーツのグレードで差分けができていくようだ。本製品はプラグをフルテックのF1-15E (G)で電極は金メッキを施している。
 音質はフルテック製すべてに共通しているが、楽器に高級感が出て、いかにもハイエンドオーディオ的な透明感が



FLOW-15
 ¥19,950
 FURUTECH

ノイズフィルター内蔵型電源供給ユニット
 ●IECコネクター：ハイエンドグレードF1-15E (G) ●フィルター回路：インレットコネクターと一体化された、直列コイルとコンデンサーにより構成 ●特性：100kHzで約8dB、500kHzで約14dBのノイズ成分を減衰 ●電極：金メッキ ●その他：フィルター内部は振動の影響を軽減するためエポキシ材を充填 ●定格：AC 115V/250V 10A 50/60Hz ●取り扱い：フルテック

●注目のポイントと使いこなし

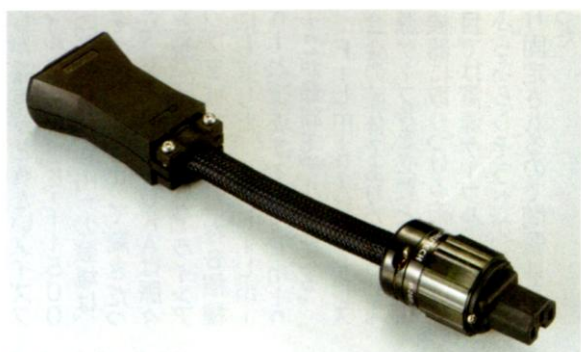
最大のメリットは価格の安さ。しかも安がるう悪かるうではない、しっかりした性能。このタイプの電源アクセサリーで、まずはお試用として最適な1本。オーディオシステムに、電源入力部はいくつもあるので決してムダにはならない。上級モデル、さらにその上と、より美麗系方向に進むので、温度感があるこのモデルがいいとする判断もあり。

出てくる。「ヴォーカル」のイントロのピアノ、続く声などは余韻が激増した。「ギター」はライブ会場の空気感もよく出ている。金メッキ的な甘さはあまり感じられない。最初の1本目で、耳が慣れていないため、より効果的に聴こえるという有利な部分もあるが、価格から考えてコストパフォーマンスはかなり高いとみた。

ツチノコ型！
 電源ノイズフィルター&アタッチメント徹底研究

FLOW15に比べて、ロジウムのなすけのよさ、クールな質感がある。よりクリー

●概要と特徴、音質レポート
クールな質感や抜けのよさ 定位には奥行きを出してくる
 上級モデルFLUX50に続いて発売された弟分だが、FLOW15の誕生で3兄弟の真ん中に位置している。やはりフィルター内蔵型でノイズ成分を減退させるスペックは同じ。ノイズは、高価なモデルほどよく取れるというのではない。違いはIECコネクターがF1-28 (R)を採用し、電極はロジウムメッキを施しているところ。つまりラインアップのどれを買ったらいいのか迷うところだけ、パーツや構造によって音が変わるという意味でのヴァリエーションという捉え方ではないと思う。



FLOW-28
 ¥39,900
 FURUTECH

ノイズフィルター内蔵型電源供給ユニット
 ●IECコネクター：ハイエンドグレードF1-28 (R) ●フィルター回路：インレットコネクターと一体化された、直列コイルとコンデンサーにより構成 ●特性：100kHzで約8dB、500kHzで約14dBのノイズ成分を減衰 ●ボディ：制振性特殊樹脂 ●ケーブルクランプ部：特殊ステンレス ●電極部：純銅素材にロジウムメッキ処理+αプロセス処理、アースジャンパー装備 ●ケーブル：a-薄体 (OCC素材) 高密度薄体 ●取り扱い：フルテック

●注目のポイントと使いこなし

ラインアップ的には、価格面でちょうどいいところを突いていると思わせるモデル。ぼくは一昨年の『電源アクセサリー大全2012』誌でマイベストに入れていて、「チーンと出たトライアングルがきっちり浮かんで、糸を引くような余韻」と書いた。ややお行儀が良すぎる局面もあるが、自作した電源ケーブルにありがちなまとまりのなさをうまくまとめてくれる力がある。

ンになったように聴こえる。高音質録音の「ヴォーカル」はほけることなくスカツときれいに美声が漂う。「ギター」は定位に奥行きが出て、はちぎればかりの迫力はやや減り、整理されて額縁内に収まる。オーディオ的にシステムがグレードアップした感じはかなりある。